

第1回 CO<sub>2</sub>マップづくり体験 報告レポート

## 1. プロジェクト目的

気温や湿度のように体感することのできない CO<sub>2</sub>濃度の見える化を体験するとともに、今後の事業としての展開の可能性を検討することを目的としました。

## 2. プロジェクト概要

地域の CO<sub>2</sub>濃度調査に基づく環境教育プログラムを開発・実践している名古屋産業大学の伊藤教授の指導を頂きながら「国道1号線沿いと東公園内の2地区で CO<sub>2</sub>濃度を計測し、計測データを基に CO<sub>2</sub>調査マップを作成する」体験をした上で、2地区の比較、地区内の比較を行い CO<sub>2</sub>濃度の相違を解説するとともに、参加者内で意見交換を行いました。

## 3. プロジェクト報告

日時：2019年4月12日（土）13:00～

場所：福祉会館303号室（講習会→フィールド調査（国道1号線沿いと東公園内）  
→意見交換）

参加者：講師&協力 名古屋産業大学 伊藤教授・岡村教授・高木研究員  
地球温暖化防止隊 織田・武田・青山・草野・田上・小串  
協力 グリーンフロント研究所（株）青山・佐々木 合計11名

調査結果：国道1号線沿いの CO<sub>2</sub>濃度が400~453ppmであったのに対し、東公園の CO<sub>2</sub>濃度は365~425ppmで、東公園の方が低い傾向がみられました。この結果は、『東公園の緑地の CO<sub>2</sub>吸収効果を反映した』という可能性が考えられますが、科学的な評価にはデータの蓄積が必要不可欠です。



伊藤教授による講義



東公園におけるCO2測定



国道1号線沿いにおけるCO2測定



CO2マップの作成と意見交換

## 4. プロジェクト評価

伊藤先生の講義が大変わかりやすく、かつ、フィールド調査+その後の分析評価もスムーズで楽しく CO<sub>2</sub>測定体験をすることができました。参加者の皆様の満足度も高かったように思います。H31年度 CO<sub>2</sub>測定プロジェクトの事業化について前向きに検討したいと思います。（小串重治）